

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（66） 学校名 豊田市立明和小学校

1 テーマ

ふるさとに学び、心豊かに生きる「WE LOVE 明和」

ー 明和のよさに気づき伝えよう ー

2 ねらい

- ・自分たちが住んでいる地域に目を向ける活動を通して、地域のひと・もの・こととふれあい、身近な環境「ふるさと明和」と自分たちとのつながりや「ふるさと明和」のよさを知るとともに、ふるさとに愛着をもつ子どもを育てる。
- ・地域講師招聘による全校和太鼓活動や栽培活動などを通して、地域の方が学校に寄せる思いを知り、情意面での充実を図る。
- ・心の相談員による相談活動を通して、悩みや困りごとの早期発見、早期解決に努め、安心安全な学校づくりをする。
- ・校内整備員による環境整備を通して、教育活動を行うために安全で快適な環境を整える。

3 活動内容

- ・生活科や総合的な学習の時間との関連を図り、年間計画を作成した。（4月）
- ・地域ボランティアの方から指導を受けながら、野菜や花、ブルーベリー栽培活動（主に剪定作業）を進めた。また、収穫した作物を使って焼き芋、干柿、ポップコーン、ジャム、梅ジュースを作って振舞った。（4月～2月）
- ・地域の自然や歴史を学んだ。（4月～1月）
- ・福祉教育として、講話を聞いたり、車椅子の体験をしたりした。（12月）
- ・地域の様々な課題を調べる中で、鳥獣被害の大きさを知ると同時に、鳥獣の命の大切さを学び、ジビエ生産などの前向きな取組を学んだ。（5月～2月）
- ・地域講師による指導を受けながら和太鼓活動に取り組み、初釜の会で発表した。（5月～1月）
- ・図書ボランティアによる読み聞かせを行った。（5月～2月）
- ・心の相談員による定期的な教育相談や日常的な情報共有を行った。（4月～3月）
- ・校内整備員によって、安全で快適な環境を整えた。（4月～3月）

4 成果と課題

- ・地域のひと・もの・ことを知ることで、地域の方々が「ふるさと明和」を大切にしていることに気づき、学校や自分たちにとのつながりを感じることができた。
- ・低学年は、地域講師に教えていただきながら栽培活動を行い、作物を育てる大変さと収穫の喜びを体感した。また、栽培した作物を使って、焼き芋や干柿、梅ジュースを作った。焼き芋は全校に振舞い、梅ジュースは子どもが進んで地域の方々に声

をかけて集客し、梅ジュース屋さんとして多くの方々に振舞った。

- ・ 中学年は、これまで行ってきたブルーベリー栽培を受け継ぎ、地域講師から施肥や剪定の仕方を教わりながら活動した。ブルーベリーの栽培・加工・販売を行っている事業所を見学し、ブルーベリーの活用方法を学び、自分たちで作ったジャムを使ってホットケーキにのせて味わった。
- ・ 高学年は、ふるさとの現状を学び、鳥獣被害による地域の方々の困り感を肌で感じ取った。同時に、鳥獣類をジビエとして活用することも教えていただき、命を無駄にしないことの大切さと、困っているだけでなく前進することの大切さを学ぶことができた。また、学んだことをまとめ、ポスターを作って町内の事業所を回り、掲示していただくことで、情報を発信した。
- ・ 福祉の学習では、車椅子で生活してみえる方に来ていただき、車椅子に乗ったりサポートしたりする体験をしました。また、相手の置かれた状況や状態から、相手の気持ちを知り、相手が何を求めているのかを考えて行動することが必要であることを教えていただいた。これらのことは、障がいの有無にかかわらず日常生活全てに当てはまることとして学ぶことができた。
- ・ 低・中・高学年ともに、学習のまとめの発表会を実施し、そこにお世話になった方を招待し、思いを色紙にして感謝の意を伝えることができた。これらの活動を通し、携わってくださった方々の温かさを感じ、自分たちが支えられていることをありがたい思いとして捉えるようになった。また、地域と学校がさらに近づき、互いに協力して活動することができている。
- ・ 継続的な図書館司書や図書ボランティアによる読み聞かせ、和太鼓活動を通して、豊かな感性を育むことができた。特に、和太鼓活動は、明和太鼓として16年間続いており、子どもたちにとって、伝統として胸を張って練習に励み、成果を披露するまでになってきた。
- ・ 心の相談員に子どもたちの様子を見たり話を聴いたりしていただくことで、子どもたちが安心して生活できる一助となった。
- ・ ホームページ、学校だより、学級通信などで活動への参加の呼びかけや、取組の様子、成果などを発信することで、本事業への理解をいただいている。保護者による学校評価では、特色ある学校づくりの項目では、R4年度から一年毎に、0.3ポイント、0.1ポイントと上昇した。
- ・ 学校運営協議会でも学校づくりの視点と活動内容等を伝え、協力していただいている。そして、「地域を学ぶことはとてもよいこと」「本事業は地域のコミュニティとしての学校の役割をより強固なものにしている」「これからも、ぜひ続けてほしい」と声をいただいている。また、保護者アンケートからは本事業に対し8割以上の賛同を得ている。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ ホームページを更新（計31回）し、それぞれの取組を紹介した。
- ・ 学級通信で、その都度、内容や成果について写真や子どもたちの声も掲載しながら具体的に紹介した。また、学校だよりでも各取組を紹介し、学区の全戸に配付した。
- ・ 授業参観で特色ある学校づくり推進事業に関わる公開授業を行った。（全クラス）